

## ひがしおおさか電子図書館の概要

<p>趣 旨</p>	<p>令和3年4月1日から、新たに「ひがしおおさか電子図書館」サービスを開始いたしました。</p> <p>このサービスは、24時間いつでもお持ちのパソコンやタブレット端末、スマートフォンから電子書籍を読むことができるというもので、新型コロナウイルス感染症（以下、「感染症」という。）の流行する中、自宅や外出先から「非接触」で、図書の貸出・返却・予約が可能となります。</p> <p>また、感染症の流行により、図書館が臨時休館となった場合についても利用を継続いただくことができ、これまでの図書館サービスを補完するものとして大きな効果が期待されています。</p>
<p>概 要</p>	<p><b>【所蔵数】</b> 約 34,000 点 (新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金：26,000 点、経常図書経費：8,000 点) ※日本トップクラスの所蔵数 一般社団法人「電子出版制作・流通協議会」公開の電子図書館導入自治体、143自治体の書籍数調査による。(令和3年1月1日現在)</p> <p><b>【対象】</b> 東大阪市に在住・在勤・在学の方で、市立図書館の「利用カード」をお持ちの方 ※資格のある方は、特定のID・パスワードを使えば、そのままご利用いただける環境を整えました。</p> <p><b>【利用方法】</b> 東大阪市立図書館のウェブサイトから「ひがしおおさか電子図書館」にログインする。 ※臨時休館中は、電話やファクシミリによる申し込みを受け付け、仮パスワードを発行いたしました。</p> <p><b>【利用内容】</b> 1人3点、2週間までの貸出が可能。貸出期間を過ぎると、自動的に返却となります。なお、1回に限り、2週間の延長が可能。予約も3点まで可能。</p>
<p>特 徴</p>	<p>電子図書は、感染症対策のほかに、表示される文字を大きくしたり、画面を白黒反転させたりすることができるほか、読み上げ機能がついたものもあります。</p> <p>こうした機能は、障害のある方だけでなく、文字が小さくて</p>

	<p>本が読みにくいご年配の方や重い本が持てない方などにも利便性があります。</p> <p>また、汚破損による劣化もなく、絶えず真新しい状態でご覧いただくことができます。小さなお子さまが、気づかないうちに絵本を破いてしまったというような心配もありません。</p> <p>電子図書の可能性は、今後ますます広がってまいります。</p>
<p>周知</p>	<p>市で導入した電子図書は、所蔵点数も大きいことから、マスコミ等に数多く取り上げられました。</p> <p>新聞やラジオ、地元のケーブルテレビ、インターネットニュースなど、多くの取材を受けたこともあり、順調に利用が伸びました。</p> <p>6月末からは、学校での利用が始まり、膨大な数のアクセスがみられています。</p> <p>今後は、市庁舎や市内リージョンセンターでの体験会などを通じ、幅広い層の方にご利用いただけるよう、周知に努めてまいります。</p>
<p>独自資料の充実</p>	<p>電子図書館には、市が独自に所蔵する貴重な絵図や資料を取り込み、広くご覧いただけるようにしています。</p> <p>今後も、地域資料の充実を図るとともに、広く市民の皆さまにご覧いただき、一人でも多くの方に地域に関心を持っていただけるよう努めてまいります。</p>
<p>今後の方針</p>	<p>電子図書館サービスは、令和3年度からの新しいサービスとして、通常の図書館サービスに組み込んで新たな指定管理者のもと導入を開始したものです。</p> <p>サービス導入にあたり、令和2年度からの新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用した結果、通常の図書購入費とは別予算（令和2年度：約26,000冊分、令和3年度：約14,000冊分）にて多くの電子書籍を購入することができています。</p> <p>電子書籍は有期限購入（期限：例えば利用期間は2年間あるいは52回の貸出回数のうち、どちらか早く達した時期）という形で購入するものも多く、期限切れになるとその分電子書籍数も減少します。</p> <p>令和4年度以降の交付金については不透明であるため、例年ベースの予算ではサービス開始時の電子書籍の全てを補うことは出来ず、通常の図書購入費において紙の書籍とのバランスを見ながら電子書籍を購入していく必要があります。</p> <p>しかしながら、電子図書館サービス事業は市としても図書館機能やサービスの充実を図っていくうえで有効なツールとして</p>

	捉えておりますので、令和3年度の実績（活用や貸出の状況等）の分析を行いながら、一定の電子書籍数を維持しつつ、財政部局への予算要求を行っていきたいと考えています。
--	--

※市では東大阪市広報番組「虹色ねっとわーく」の企画コーナーで電子図書館サービスの紹介動画も配信しています。ぜひご覧ください

URLはこちら⇒ <https://www.youtube.com/watch?v=I-YbiSfuavI>

検索ワード⇒ 「ひがしおおさか電子図書館がオープンしました」

アクセスコード⇒

